区のお知らせ

足立区

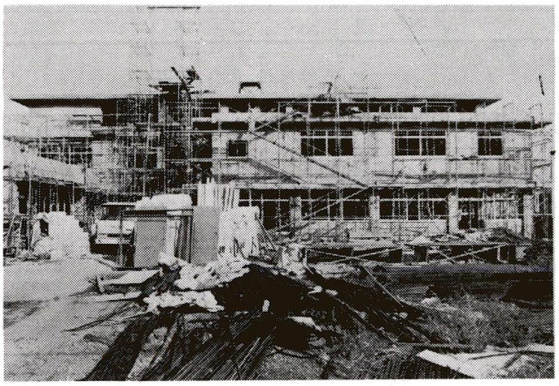
足立区千住一丁目50
☎（882）1111
編集・発行／足立区役所

人口調べ
（昭和48年10月1日現在）

世帯	193,681
男	307,371
女	297,684
合計	605,055

（前月より311人増）

花畑地区区民センター着々工事すすむ



完成待たれる花畑地区区民センター（仮称）

区民と密接した行政サービスセンター

○……現在、花畑に建設されている『花畑地区区民センター（仮称）』の工……○
○……事が、十二月の完成をめざし着々と進んでいます。このセンターは区……○
○……内を十三ブロックにわけ、地区ごとに建設される第一号の施設です。……○

ことしの三月に着工した花畑地区区民センター（仮称）の工事は、来春に予定されているオープンをめざして、順調に進んでおり、いままで、児童・老人施設、図書館などのない花畑地区に建設されていますので、この地域住民の方々に期待されています。

この地区区民センターには、将来はミニ区役所的機能をもつ出張所、児童が安心して楽しめる児童施設、お年寄りがゆったりとした気分でくつろげる老人施設、青年の各種講習会などに利用できる青年館、童話から文学書まで各種の本が蔵書されている図書施設が設置されます。また、住民が気軽にこどを訪れ、会話や休息などができる区民コーナーなどがあります。

所在地は、花畑土地区画整理組合施行地区四七ブロック二〇・二一（花畑西小学校南側）

建物の構造と規模は、鉄筋コンクリート造り地上三階建て、延床面積二一九六・七八平方メートル、工事費約四億三千万円です。

施設内容の概要は、次のとおりです。

■一階（出張所機能・老人館機能）出張所／老人集会室・娯楽室・浴室／区民コーナー／売店／事務室

■二階（児童館機能・青年館機能）音楽室／工作室／育成室／ホール／大集会室／集会室（和・洋室）／料理講習室／トレーニング室

■三階（図書館機能）閲覧室（児童から一般の方まで自由に利用できます）／談話室／公開書庫／事務室

施設見学会にどうぞ

区では、区内在住の方（満二十歳以上）を対象に施設見学会（写真）を開催いたします。

区内にある施設の見学にふるってご参加ください。

なお、参加人員に制限がありますので、お早めにお申込み願います。

▽**日時**　十二月四日（火）・五日（水）午前九時三十分から午後四時まで

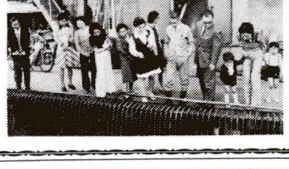
▽**見学施設**　川田橋排水場・中央図書館・炎天寺・大鷲神社・東部区民福祉センター・交通公園

▽**参加費**　無料（弁当付）

▽**定員**　各日・二十名（合計四十名）

▽**参加資格**　区内在住で満二十歳以上の方

▽**申込み（問い合わせ）**　直接か電話で、区役所広報課広聴担当まで申込みください。満員になり次第締切ります。



応急小口資金のご利用を

区では、応急小口資金の貸付けを次の要領で始めました。

■**貸付対象**
応急の費用にあてる資金を必要とし、他から調達することが困難な方で次の要件に該当する方
①区内に引続き二か月以上居住していること　②一定の収入があり、世帯の生計を維持していること　③確実な連帯保証人がいること
なお、次の方は貸付けの対象になりません。
(ア)足立区母子応急小口資金、または東京都失業対策事業就労者厚生資金の貸付けを受けている方
(イ)公務員共済組合その他の共済制度の貸付けを受けている方　(ウ)法令に基づく生活に関する扶助を受けている方

■**貸付理由**
▼災害等により住居や家財に被害を受けた場合
▼本人や家族の疾病、傷害により治療を要する場合
▼生活必需品を購入する場合
▼本人や家族の結婚、出産、就職、就学、葬祭などの費用が必要な場合
▼遠隔地の親族の冠婚葬祭などでやむをえない旅行をする場合
▼その他貸付けを必要とする場合

■**貸付条件**
▽貸付額＝三万円以内
▽利子＝無利子
▽返済方法＝貸付けの翌々月から十か月の均等月賦償還

■**申込方法**
区役所二階援護係・出張所・民生委員宅においてある、申込用紙に記入のうえ、区役所二階援護係へ申込みを。
問い合わせは、区役所援護係へどうぞ。

休日診療所　三か所にオープン

区では、足立区医師会の協力による休日診療所を区内三か所に開設しました。従来二十二か所の救急指定病院により行なわれていた輪番制の方法は、なにかと不便なため、恒久的な診療所を設けたものです。

■**千住休日診療所**（千住仲町一五足立区医師会館五階）☎八七〇〇四六一

■**綾瀬休日診療所**（東綾瀬一丁目五一一七　東部区民福祉センター地内）☎架設中

■**竹の塚休日診療所**（竹の塚二丁目二五一二一　教育センター一階東側）☎八五〇一八八〇一

▽**診療を行なう日**
日曜日・国民の祝日・祝日が日曜日の翌日（振替休日）
・十二月二十日～一月三日

▽**診療時間**
各診療所とも午前十時から午後四時まで（ただし、正午から午後一時までは昼休み）

「文化の日」に表彰される……
区政等に貢献した二四五名

十一月三日「文化の日」に、昭和四十八年度足立区表彰が行なわれました。

足立区のために、行政・教育・社会福祉・産業などに功労のあった次の二百四十五名の方がたが表彰を受けられました。（敬称略）

〔自治功労〕（区議会議員永年）
原子東　吉田小重郎　鈴木次夫　田口三五郎　石鍋源一郎　森信雄　北詰光男　白石恭三　倉持伝次　小久保雅捷　井上市三郎　田幡義雄　藤木二幸　（区職員三十年以上）
梅山純二　会沢福寿　桑原昭吉　山上礼子　海老原和夫　大杉米太　大坪一江　原みつ　高野山太郎　岩井繁　岡田国雄　（区職員二十年以上）
鈴木博司　岡田一郎　関秀次郎　鈴木康之　植草敏雄　寺田政雄　水出明広　中里大作　高橋隆一　水上剛　藤本博隆　川島孝　佐藤富男　小磯利子　加藤やい子　杉浦兜之　桜井章　山本政吉　富岡鎌次　湯浅直巳　鈴木政実　（教育功労）

〔教育功労〕（学校保健衛生）
石井康　藤島幸男　伊藤清　高木敏哉　金子一彦　近藤年子　飯塚利貞　相川喜以則　芦川浅次　荻原京蔵　泉沢孝之助　村瀬清太郎　渡部清　下川与吉　下島正治　（統計功労）

〔統計功労〕
長吉　（町会・自治会長）　冨沢　井久子　遊馬誠之助　平山寮　桜孝之　大島小録　伊藤貫　今井隆　吉田広　大島和子　佐々木博　熊谷陽子　河野新一　岩田逸吉　本政次郎　鷲秀子　（保護司）　橋本敏哉　豊田稔　原和雄　井上逸雄　松尾富美子　尾河直太郎　内山正之　高橋爪民子　内山正之　高和夫　島田久太郎　石川正晃　吉田宏　（徳行者）　森キヨ　（人命救助）　永井万博　千代吉　鴨下栄吉　矢部一孝　小職員三十年以上）　里野清一　花泉みよ子　下川金重　高松圭一郎　井三夫　高野郁郎　刀川芳夫　服大原みつ　田口武雄　田中信枝　大山雅二　（消防団運営委員）　宮田喜平　（千住消防団）　小西一郎　茂出木一男　茂出木久雄　（西新井消防団）　鯨井博　飯山　黒須勲　小野田裕一　中江登志子　三喜　橋本仲紹　市川軍次　田中　鈴木信夫　常松テル子　橋本直光　乙須昭生　米蔵　鈴木義治　大島倉男　戸張　徳留米蔵　真田静子　佐藤政治　兼吉　宝田明　秋山幸市　吉沢半　中嶋タツ　井上正信　青山秀男　金井義則　（教職員二十年以上）　部栄子　中越米子　植松喜代　小蔵　堀之内輝雄　堀内正雄　堀内　滝沢盛次　大塚幸子　五明実　荒　（町会・自治会長）　冨沢　井久子　遊馬誠之助　平山寮　桜　川貞信　宇田川つ襦　小宮八重　小宮秀一　茂出木芳蔵　（遺族会役員）　渡辺仲太郎　増田つな　三角タマ　（社会福祉事業）　経　政次郎　鷲秀子　（保護司）　橋　野ミヤ　稲葉繁　笹原丑蔵　柴滝　水越長治　高　瀬田孝三郎　富井近蔵　会谷　（農商工業功労）　（商業振興）　（建設功労）　（区画整理事業）　伊藤時雄　吉田季一　村上政七　野口金平　（社会教育功労）　（教育）　山崎安茂　山崎ノ昭　渡辺市太郎　島田福松　庄司徳之助　白川源太郎　小坂よし枝　（体育）　鹿角正昭　島中里信司　後藤利男　大出勇　足立区医師会館五階）☎八七〇〇四六一　（徳行者）　（人命救助）　（教育センター）　（区役所）　（商業振興）　（農商工業功労）　（建設功労）　（社会教育功労）　（体育）　（徳行者）　（人命救助）　（教職員）　中堀内平治　甲田五郎兵衛　加藤三六（工業振興）　池田清一郎（農業永年）　吉田明男（商業永年）　柴原盛一郎　滝沢一郎　板橋政雄　古谷真一郎　宮林忠秋　原正直（工業永年）　掛川忠市　大宮哲夫　金子敬二　平野広太郎　白幡岩夫　宇賀神義広　丸山和子　浅井正雄　山崎すみ子　根岸良一　森田源吾　金子喜美子　江口美三郎　金子一二　高田昌治　鈴木篤　小野口文三　伊藤昌一　横山正男　林繁男　松崎友次　河村芳弘　土屋国男　橋本秀雄　小林竜太郎　丸田富三　丸田義清　（私学教育功労）　（教職員）　中村　（社会および公共事業功労）　（民生委員・児童委員）　神山里く　矢崎昌訓　橋本栄　宇野きく　久　星野きく　遠田嘉隆　小林功　橋　松本伴七　横原鉄正　水越芳蔵　三谷信吉　三村了昭　森辰雄　北畑武三　山　田鉦三　小宮金太郎　堤みや　下

11月の区民福祉センター・児童館・老人館だより

◆**東部区民福祉センター**　☎六〇五一七一〇一

■**趣味の教室**　**美容体操教室**　六日（火）・十五日（木）午前十時　**生花教室**（古流）午前十時　材料費二百五十円　はさみ・ぞうきん持参　**茶道教室**（茶席の作法）十五日（木）午前十時　定員二十名　茶扇子・懐紙持参　**ペーパークラフト教室**　十六日（金）午後一時三十分　材料費五百円　カッター・鉄筆・裁ち台・はさみ持参　**毛糸あみもの教室**（ミックルボアのカラー）二十一日（水）午後一時　材料費千円から　**文学教室**（奥の細道）二十二日（木）午後一時三十分　定員二十名

◆**中部区民福祉センター**　☎八八九一四六六一

■**お年寄りの行事**（区内在住六十歳以上の方）**お茶の教室**　八日（木）午後一時　先着二十名　**詩吟教室**　十日（土）午前十時　**生花教室**　十六日（金）・三十日（金）午前十時　定員二十名　受付は五日午前九時から　**書道教室**　十八日（日）午後一時　定員二十名　**老人慰安映画会**　二十日（火）午後一時…「愛情屋台」他　**老人無料健康相談**　二十一日（水）午後一時三十分

◆**西部区民福祉センター**　☎八九七一五〇一六

■**お年寄りの行事**（区内在住六十歳以上の方）**踊り教室**　九日（金）・十六日（金）午前十時三十分　**老人無料健康相談**　二十日（火）午後一時三十分

■**子ども映画会**　十日（土）午後一時三十分・午後三時…「フクスケ」他　十一日（日）午後一時三十分…「ぼくも私も通る道」他　十八日（日）午後二時三十分…「おとぎの国の交通安全」他

◆**千住区民福祉センター**　☎八八二一七六五

■**お年寄りの行事**（区内在住六十歳以上の方）**フォークダンス**　七日（水）午前十時三十分　**民謡教室**　八日（木）・十五日（木）午後一時三十分　**踊りの教室**　十四日（水）午前十時三十分　**お茶の会**　十八日（日）午前十一時　**老人無料健康相談**　二十日（火）午後一時三十分　**老人演芸大会**　二十九日（木）午前十時　先着六十名

■**怪獣映画会**　十八日（日）午前十時三十分・午後一時三十分…「怪獣大戦争」

【各教室の申込みは直接センター事務室へ】
（各センターとも教材費を明記してない教室は無料です）

◆**西伊興児童館**　☎八九七一六九四八

■**秋のゲーム大会**　十日（土）午後二時

■**映画会**　十八日（日）午後三時…「セロひきのゴーシュ」

◆**新田児童館・老人館**　☎九一二一三四二一

■**卓球教室**　十七日（土）午後二時三十分

■**映画会**　十八日（日午後一時三十分…「太陽の王子ホルスの大冒険」

■**音楽教室**　十八日（日）午前九時

■**老人映画会**　六日（火）午後一時三十分・十八日（日）午前十時三十分…「東京の空の下」

■**舞踊練習**　七日（水）・十四日（水）・十七日（土）午前十時

〈各施設とも、月曜日・祝日は休館日です〉

■区役所の電話882―1111　第二庁舎889―6161　足立福祉事務所888―3141　中部福祉事務所889―1481　東部福祉事務所605―7105　西部福祉事務所897―5011

家庭

〝読書の秋です〟
じっくり本に親しみましょう

快適な秋の季節がやってきました。スポーツに読書にみなさんの計画はできていますか。からだをきたえることも大切なことでしょうが、じっくり本を読むこともまた人格形成のうえに必要なことです。読書週間にちなみ本を読むことについて考えてみましょう。

情報のはんらん

最近テレビの普及により、直接眼と耳から大量の知識や情報が流れてきます。安易にまた迅速にわたし達の頭が整理できないうちに通りすぎて行きます。そしてあとになにも残らない毎日が続いているのです。こんなことでいいのでしょうか。考える必要があるでしょう。

また反面出版物も多種多様のものが、書店の棚にあふれていて、まさに情報はんらん時代といえます。

読書の習慣を

本を読むということは、たいへんな忍耐を必要とします。自分の意志で行なう仕事です。簡単に相手から与えられる受身のことではないのです。そのために、また、長編大作を読破したときの喜びも、大きい満足感があり、自分のからだのなかに、なにか深くなものが植付けられた充足感があります。

本を読むことを少しづつはじめましょう。毎日短時間でも、必ず机の前で本を開き、読むことに専心して見ましょう。一か月も読けますと習慣となり、読まないと眠れなくなったらしめたものです。あなたも一人前の読書家になれたのです。

良い本を選ぶには

読書の習慣がついたら、こんどは出来るだけ良い本を選ぶことが大切です。新聞の書評に目を通すこともいいでしょう。学生でしたら先生に相談したり、友達と話し合って見るのも一つの方法です。夕食後家族全員で本の話をするのも楽しいものでしょう。

良い本で、よい教養を身につけてください。

読書は区立図書館で

現在区には、中央図書館のほかに地域図書館として、千住・宮城・新田・常東・中川図書館があります。各図書館とも図書の館外貸出しに力を入れており、簡単な手続きでお貸ししています。

中央図書館の例をとると、初めて本を借りる場合、住所のわかる証明書（身分証明書・健康保険証・郵便物など）を提示していただければすぐ貸出券を作り、その場で一回二冊まで借りられます。

児童の場合は、申込書（図書館にあります）に保護者が書き入れていただければ、同じように借りることができます。

中央図書館では、読書週間の行事として講演会を開きます。

▽**日時**―十一月十七日(土)午後二時　**演題**―足立の歴史を語る　**講師**―勝山樂四郎氏ほか

▽**日時**―十一月二十四日(土)午後二時　**演題**―日本の塔　**講師**―高梨英夫氏

足立の史話

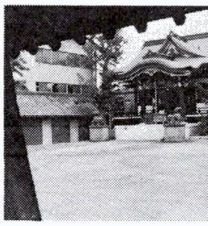
日光街道をたずねて (36)
―千住三丁目かいわい　その五―

勝山準四郎

明治の中頃まで、千住の子どもたちの大半は、私立学校に通っていたことは先号で述べた。これは学制がしかれて公立学校はできたが、それまで通っていた私塾が、教授内容を改めて私立小学校となったのです。

そのまま在学したからであろう。場所も建物も元のままだし、先生も今までのお師匠さんだから、親も子どもも安心してその学校に居すわったのであろう。そしてその親しみから弟も妹も入学したので、私学全盛の時期があったものと思われる。中味はほとんど教師一名の複式学級であった。

それだから、次第に制度がきびしくなるにつれ、特に明治十九年「小学令」が施行され、尋常科四年が義務教育と定められると、教員数や施設の面などから、私学の経営はむずかしくなってきた。明治二十年代になると区内の私学は姿を消してしまった。その関係から唯一の公立校千寿小学校の在学生は年毎にふくらみ、明治三十二年十二月には、尋常科（四年）六百名、高等科（四年）三百二十名（足立区史）にまで増加している。そこで町当局は翌年明治三十三年三丁目に分校を建て、女子だけを収容した。千寿女子尋常高等小学校である。その場所が今の千一小の敷地である。もっともその時は今の広さの半分であった。国力の進展とともに、学制は更にとどこえ、明治十年には新「小学校令」によって、尋常科は六ケ年、高等科は二～三年となり、義務教育は二年延長された。この制度は昭和二十二年の現「六三制」実施まで、約四十年間続けられたのである。こうなると当然小学生は増加するので、一校ではまに合わず、先号記述のように、町では明治四十二年千一小・千二小の二校を増設したのである。千一小は元の女子校を使って開設されたのである。そんなことから、はじめの頃は男の子の中には、「女の学校へ行くのはいやだ」と駄々をこねたとか。当時はもちろん本校は町裏の閑静な地で、西の方は学校のすぐそばから一面の田甫続きで、のどかな眺めであった。二丁目から北部が学区で、今の東武五反野駅近くの「三軒家」の子どもまで通ったとのことである。もちろん荒川（放水路）ができる前か、工事中の頃のことである。



千住三丁目にある氷川神社

本校は町の中心地にあるせいか、外からもいろいろ使われている。終戦まきわには首都防衛部隊の兵舎となり、戦後は区役所の臨時庁舎になったことは、記憶に新しいことである。今建物も近代校舎となり旧装を一新したが、校庭の欅の木樹だけは昔のままである。本校のシンボルのような印象を与えている。この木蔭で遊んだ子どもの一人に、「ふるさとの歌まつり」宮田輝さんがいる。さて子どもたちも別れ、学校の横を北に進むと、三丁目の鎮守氷川神社がある。

（この項つづく）

来年四月入園
区立幼稚園児を募集

区教育委員会では、昭和四十九年四月入園の区立幼稚園児を、次のとおり募集します。

■**関屋幼稚園**　千住関屋町一六番一号（千寿第八小学校内）☎八八八―三五八九

■**元宿幼稚園**　千住桜木二丁目一六番二号　☎八八二―九四六五

■**北花幼稚園**　江北一丁目二六番九号　☎九九六―二六三一

▽**入園資格**…区内に住んでいる昭和四十四年四月二日から昭和四十五年四月一日までに生まれた四歳児か、昭和四十三年四月二日から昭和四十四年四月一日までに生まれた五歳児

▽**申込期間**…十一月十三日(火)から十五日（木）まで

▽**定員**…各幼稚園とも四歳児三十名、五歳児九十名（それぞれ定員をこえた場合は抽選で決定します）

▽**申込方法**…印かん・幼児本人の住民票を持参の上、直接希望する幼稚園へ

なお、二園以上の幼稚園に応募することはできませんので、ご注意ください。くわしくは、区教育委員会学事係へどうぞ。

社保・国保などの
看護料金改正

健康保険・国民健康保険・船員保険および厚労働者健康保険の看護料金が改正され、九月一日からの診療分にさかのぼり、次の表の区分により適用されることになりました。

◎**第一表を適用する場合**

①病状が重篤のため絶対安静が必要で、医師または看護婦が常時監視を要し、随時適切な処置を講ずる必要がある場合

②病状は必ずしも重篤でないが、手術のため比較的長期にわたり医師または看護婦が常時監視し、随時適切な処置を講ずる必要がある場合

◎**第二表を適用する場合**

①病状から判断し、常態として体位変換、または床上起座が不可かが不能である場合

②病状から判断し、常態として食事および用便につき介助を要する場合

◎**医師の指示**により徹夜勤務をした場合には、基本料金の二割五分を加算することができる。

第一表

区分	普通病（一日につき）	伝染病（一日につき）	特殊伝染病（一日につき）
看護婦	二八四円	三四〇円	四一二〇円
准看護婦	二七七円	三二〇円	三四〇円
看護婦助者	一九九円	二三九円	二八七円

第二表

区分	普通病（一日につき）	伝染病（一日につき）	特殊伝染病（一日につき）
看護婦	一三七円	一六七円	二〇〇円
准看護婦	一三五円	一六七円	二〇〇円
看護婦助者	一三五円	一六七円	二〇〇円

部落問題の理解のために (25)
部落解放運動の歴史⑨

一九五一年、京都市衛生局の職員が、京都駅前の東七条部落を主題にして、桃色雑誌「オールロマンス」に「特殊部落」という差別小説を掲載した。

これは部落が非常に不潔で、犯罪と暴力の巣くつであるという内容のものであった。

部落解放同盟の前身である、部落解放全国委員会は、この問題をとりあげ京都市行政を糾弾していった。

部落は長い間の差別によって、劣悪な生活環境の下におかれている。

糾弾の結果、これは行政が部落に対して何もしてこなかったからであり、部落差別は権力がつくったものである以上、行政の責任であることが明らかになった。

差別はただ個人の意識の問題としてあるのではなく、部落の生活実態の反映であり、これをなくさないかぎり差別はなくならない。

以後、差別行政反対闘争は我々の主要な闘いとなった。

（部落解放同盟足立支部　☎八八四―三七八五）

老人福祉ベルを取付けます

区では、ひとりぐらしのお年寄りに、急病・盗難・火災などの非常事態に備えて、非常ベルを取付けています。非常ベルを取付けることにより、お年寄りに安心感をもってもらい、非常事態には、ベルを鳴らしてもらい、近所の方々の協力を得て大事に至らないようにすることができます。

ベルの取付けを受けられる方は、六十五歳以上のひとり暮らしの方です。ご近所にそのような方がおいでしたら、教えてあげてください。

ご希望の方は、区役所老人助成係かお近くの民生委員にお申込みください。

一近所の方へ　非常ベルは、ひとり暮らしのお年寄りの住宅の外壁などに取付けてあり、近所の方にすぐ聞こえるようになっています。ベルが鳴ったらすぐにかけつけてあげてください。

受給者現状届を

戦没者の遺族年金・遺族給付金

ことしは、戦没者の遺族年金・遺族給与金（普通扶助料・公務扶助料等は除く）を受給している方の現状届を提出する年です。いままでは、郵便局へ届けるようになっていましたが、ことしから区役所で受付けるようになりました。

また、現状届のお済みでない方は、至急届出てください。もし、届出がないと、今後、支給を停止されることがありますのでご注意ください。

くわしくは、区役所援護係へどうぞ。

ネズミの退治を
―今が繁殖期―

区では、来年三月十四日までを「ネズミ駆除期間」として衛生班を編成し、ネズミの駆除を実施します。また、十一月十三日から二十二日までを「区内一斉ネズミ駆除強調旬間」とし、区内全世帯に殺そ剤を配布しますので、ご家庭でもネズミ退治にご協力ください。ネズミは、一回に六～八匹のこどもを生み、一年後にはなんと一千匹にもなってしまいます。

なお、駆除法を知りたい方、講習会を希望される団体などは、区役所衛生係へどうぞ。

国民年金相談

相談内容	相談場所	実施期間
レントゲン（間接）撮影 血圧測定	千住保健所 足立保健所	11月1日から11月30日まで（午前9時から10時30分まで）千住（月・木曜日）足立（水・金曜日）
一般健康相談 血圧測定・その他	医師会加入の病院・医院等	11月1日から11月30日まで 日曜日・休診日を除く 診療時間中
虫歯の早期発見・口こう衛生相談・歯槽膿漏の診断	歯科医師会加入の歯科医院	
薬の相談	薬剤師会加入の薬局	11月1日から11月30日まで 営業時間中

無料健康相談を実施
十一月二十日まで

あなたの健康状態はいかがですか。秋は夏の疲れと共に、涼しくなった勢いで、色々と無をしがちなため、病気になりがちです。冬に向って健康の増進を図ってください。

区では、被保険者（国保）のみなさんに、ご自分の健康状態を早く知ってもらい、早期治療をして常に健康で明るい家庭生活を過していただくため、保健所・医師会などの協力を得て、別表のとおり無料健康相談を行なっています。

なお、相談の際には、必ず被保険者証をご持参くださるようお願いします。

掲示板

■あなたも愛の献血を

献血日程は次のとおりです。

▽五月（月）鹿浜小学校
▽七月（土）千寿第三小学校
▽十七日（土）千寿第三小学校
▽二十六日（月）中川小学校
▽二十八日（水）第七中学校
▽三十日（金）北千住駅西口

時間は、午前十時から午後三時までです。

■合唱コンクール参加募集

日頃の成果を発表する場として、次の要領で第二回合唱コンクールを実施します。ふるってご参加ください。

日時　十二月八日(土)午後一時
会場　区文化会館
参加部門　①第一部門…小学生　②第二部門…中学生　③第三部門…一般（高校生を含む）

各部門編成人員は五十名以内

演奏曲目　自由曲（曲数に制限なし、ただし、出場場合めて七分以内。ピアノ伴奏付、または無伴奏のもの）

審査員　小平浩平氏（東邦音楽大学教授）　増沢健美氏・真篠　将氏（NHK学校音楽コンクール審査員）

申込み方法　規定用紙に必要事項を記入、十一月十五日までに、区教育委員会文化係へ

▽**場所**　千寿第一小学校
▽**内容**　①子ども会と子ども会に関係する団体　②子ども会はだれが育てるのか　③子ども会は子どもをしあわせにするか――等
▽**対象**　青少年委員／PTA／区立小・中学校生活指導主任／青少年対策地区委員／町会・自治会／少年団体育成員等
▽**申込み期限**　十一月十日(土)
▽**申込み先・問い合わせ**　区教育委員会青少年係

■区民フォークダンス大会

日時＝十一月十一日（日）午後一時～五時
会場＝区立寿小学校体育館
対象＝小・中学生を除く一般区民の方
参加費＝無料
申込み＝当日会場で受付けます
※上げき用運動靴を持参してください。

■区民スケート講習会

区教育委員会と区スケート連盟では、次のとおり区民スケート講習会を行ないます。どしどし参加ください。

期日・時間　十二月三日（月）～五日（水）午後六時三十分～九時
対象　区内在住・在勤・在学高校生以上）の方で三日間受講でき、未経験者、または初歩段階の方
講習料　無料
講師　日本スケート連盟指導員
場所　ヤコウスケートプール（東武線谷塚駅下車徒歩五分）
定員　二百名（先着順で定員になり次第締切り）
申込方法　所定の申込用紙、または往復ハガキで、住所・氏名・年齢・性別・所属・スケート経験の有・無を記入のうえ、区教育委員会体育振興係（〒一二〇足立区千住仲町五八　和光ビル内）へ直接、または郵送で

■青少年指導者一般研修会

区内には、子ども会等が五百四十団体も結成されています。これら子ども会を伸ばすには、どうしても、地域社会のおとなの方々が、力をあわせて子ども会を育てるという心がまえがなければ効果をあげることができません。子どもたちのしあわせを願い、次のように研修会を計画しましたので、区民のみなさまのご参加を期待しています。

日時　十一月十七日（土）午後一時～四時
場所　千寿第一小学校
内容　①子ども会と子ども会はだれが育てるのか　②子ども会は子どもをしあわせにするか――等
対象　青少年委員／PTA／区立小・中学校生活指導主任／青少年対策地区委員／町会・自治会／少年団体育成員等
申込み　当日会場で受付けます
参加費　無料
※上げき用運動靴を持参してください。

□**個人事業税（一期）**
□**申告所得税（二期）**
の納期限は11月30日です

■もういちど玄関の戸締りを確かめよう！　■自転車には防犯ナンバーを！　■タバコは区内で買いましょう

N・I　208,000